



編集後記

小職がコンピュータに向かっている現時点で、コロナの感染拡大は第6波の状態にあります。読者の先生方も日々の診療および感染対策に苦勞されていることかと存じます。小職も2回も濃厚接触者の疑いをかけられ、大変な思いをしました。現在の感染拡大をもたらしている一番の原因はオミクロン株ですが、ウイルス学の研究者の一部の分析では、「終わりの始まり (the beginning of the end)」とみられているようです。理由としては、オミクロン株は50か所以上の遺伝子に変異が入っていますが、修復遺伝子のnsp14に変異が入っていると考えられているためです。国立遺伝研の井ノ上逸朗教授によって発見された第5波のウイルスのAY.29のnsp14変異と同じことが起きるのではないかとことです。このことが南アフリカや北欧での感染者数減少を反映しているのであれば福音です。後2〜3か月の動向によりこれらの理論が正しかったかが判明するのでしょうか、一臨床家としてはコロナが収束することを祈るのみです。

しかし、「人間とは何のために生きているのであろうか?」と考えてしまうことが多々あります。今回のコロナにしてもそうですが、いま話題の腸内細菌叢をはじめとした細菌叢も体のいたるところにあるといわれており、多くの情報から人間はウイルスや細菌の宿

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

主として存在しているのか、それを利用しているのか甚だ疑問です。

腸内細菌叢に関して最近驚かされたのは、前立腺癌に対して行われるホルモン治療によって現れるバクテリアが、アンドロゲン合成して癌の増殖を助ける可能性を示唆した論文でした (Science 374: 216-224, 2021)。実験的前立腺癌で去勢手術後、徐々に抵抗性を獲得する現象に腸内細菌叢が関わる可能性を考え、腸内細菌叢の全体を抗菌薬で除去すると、癌の増殖が強く抑制されることがわかったようです。一方で、去勢治療を行わないケースでは抗菌薬の投与効果はなかったようです。詳細は論文を読んでいただければよいと思いますが、論文最後でヒトに対しても抗菌薬の投与による変化を確認しています。

以上より、去勢により腸内細菌叢が変化し、その変化が前立腺癌を刺激したことが考えられます。前立腺癌のホルモン治療は、精巣のアンドロゲンから副腎のアンドロゲンへ、そして将来は、バクテリアが生成するアンドロゲンをいかに抑えるかの治療になるのでしょうか。その際に便秘殖が行われるようになると、アンドロゲン産生バクテリアの便をLOH症候群に移植することもあるのでしょうか。興味深く思います。

(近藤幸尋)

臨床泌尿器科 (第76巻 第2号) (通巻908号)
2022年2月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価: 3,080円 (本体2,800円+税10%)

2022年年間購読料
(増刊号を含む13冊, 税込, 送料小社負担)
冊子版 43,824円
電子版 (個人) 43,824円
冊子+電子版 (個人) 49,324円

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724
(担当: 金子・今田)

販売・PR部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693番

印刷所 ㈱双文社印刷 電話 (03) 3973-6271

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2022. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。